

第34回知的財産管理技能検定
【3級（管理業務）実技試験】

（はじめに）

すべての問題文の条件設定において、特に断りのない限り、他に特殊な事情がないものとします。また、各問題の選択枝における条件設定は独立したものと考え、同一問題内における他の選択枝には影響しないものとします。

特に日時の指定のない限り、2019年5月1日現在で施行されている法律等に基づいて解答しなさい。

- 1 甲は独自に創作した発明Aについて、2019年10月10日午後4時に特許出願Pをした。一方、乙は独自に創作した発明Aと同じ発明について、2019年10月3日にドイツで開催された国際展示会においてドイツ語で口頭発表をした。また、丙は独自に創作した発明Aと同じ発明について、2019年4月1日に特許出願Qを行い、特許出願Qは、早期審査を経て登録され、2019年10月30日に特許掲載公報が発行された。更に、丁は独自に創作した発明Aと同じ発明について、2019年10月10日午前10時に自分の開設しているインターネット上のホームページで発表した。

以上を前提として、問1～問6に答えなさい。

問1

特許出願Pについて、乙の行為により拒絶されないと考えられる場合は「○」を、拒絶されると考えられる場合は「×」を、解答用紙に記入しなさい。

問2

問1において、拒絶されない又は拒絶されると判断した理由として、最も適切と考えられるものを【理由群I】の中から1つだけ選び、対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

【理由群I】

- ア 乙の行為により、特許出願Pに係る発明は新規性を喪失するため
- イ 乙の行為は外国における発表であり、特許出願Pに係る発明は新規性を喪失しないため
- ウ 乙の行為は外国語の口頭による発表であり、特許出願Pに係る発明は新規性を喪失しないため

第34回知的財産管理技能検定
【3級（管理業務）実技試験】

問3

特許出願Pについて、丙の行為により拒絶されないと考えられる場合は「○」を、拒絶されると考えられる場合は「×」を、解答用紙に記入しなさい。

問4

問3において、拒絶されない又は拒絶されると判断した理由として、最も適切と考えられるものを【理由群Ⅱ】の中から1つだけ選び、対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

【理由群Ⅱ】

- ア 特許出願Pに対して、特許出願Qは拡大された先願の地位を有さないため
- イ 特許出願Pに対して、特許出願Qは先願の地位を有するため
- ウ 特許出願Qにより、特許出願Pに係る発明は新規性を喪失するため

問5

特許出願Pについて、丁の行為により拒絶されないと考えられる場合は「○」を、拒絶されると考えられる場合は「×」を、解答用紙に記入しなさい。

問6

問5において、拒絶されない又は拒絶されると判断した理由として、最も適切と考えられるものを【理由群Ⅲ】の中から1つだけ選び、対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

【理由群Ⅲ】

- ア 特許出願Pと丁の行為は同日であり、特許出願Pに係る発明は新規性を喪失しないため
- イ 特許出願Pと丁の行為は同日であり、特許出願Pに対して特許庁審査官から補完命令がされるため
- ウ 特許出願Pの出願時が、丁の行為よりも時間的に遅いので、特許出願Pに係る発明は新規性を喪失するため

第34回知的財産管理技能検定
【3級(管理業務)実技試験】

2 ある大学生は、次のコンテンツA、B、Cを利用しようと思い、著作権の専門家であるゼミの教授に利用方法について相談している。発言1～3は大学生の発言である。

発言1 「コンテンツAは、著作権事件に関して出された最高裁判所の判決の全文です。私は、自分のブログに、コンテンツAを載せた上で、コンテンツAについて私の意見を書いたものをアップロードしようと思っています。この場合、誰の許諾も得る必要はないですよ。」

発言2 「コンテンツBは、人気小説家の甲が執筆した小説をもとにして、人気漫画家の乙が描いた漫画です。私は、コンテンツBを出版しようと思っています。この場合、甲の許諾は必要ですが、乙の許諾は不要ですよ。」

発言3 「コンテンツCは、二人の友人がお互いに協力して作曲した楽曲です。私は、有料ライブで、コンテンツCを演奏しようと思っています。この場合、友人二人とも許諾が必要ですよ。」

以上を前提として、問7～問12に答えなさい。

問7

発言1について、適切と考えられる場合は「○」を、不適切と考えられる場合は「×」を、解答用紙に記入しなさい。

問8

問7において、適切又は不適切であると判断した理由として、最も適切と考えられるものを【理由群Ⅳ】の中から1つだけ選び、対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

問9

発言2について、適切と考えられる場合は「○」を、不適切と考えられる場合は「×」を、解答用紙に記入しなさい。

問10

問9において、適切又は不適切であると判断した理由として、最も適切と考えられるものを【理由群Ⅳ】の中から1つだけ選び、対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

問11

発言3について、適切と考えられる場合は「○」を、不適切と考えられる場合は「×」を、解答用紙に記入しなさい。

問12

問11において、適切又は不適切であると判断した理由として、最も適切と考えられるものを【理由群Ⅳ】の中から1つだけ選び、対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

第34回知的財産管理技能検定
【3級（管理業務）実技試験】

【理由群Ⅳ】

- ア コンテンツは二次的著作物にあたるため
- イ コンテンツは共同著作物にあたるため
- ウ コンテンツは著作物にあたらないため
- エ コンテンツは保護される著作物にあたらないため

第34回知的財産管理技能検定
【3級（管理業務）実技試験】

③ 問13～問26に答えなさい。

問13

時計メーカーX社は、指定商品aについて商標「ABC」の商標権を取得し、その後その商標の使用を開始した。X社の商品aの市場シェアが高かったことから、取引者の間では、他社の製品であっても商品aについては「ABC」の名前で呼ぶことが多くなった。ア～ウを比較して、X社の考えとして、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア X社は、商品aについて、他社製品も含めて「ABC」と呼ばれるのは、X社の製品が高品質であることを証明するものであり、また商標のライセンス料が得られる可能性もあると考え、しばらく現在の状況を放置することとした。
- イ X社は、商標「ABC」に係る商標権の効力が制限される可能性もあると考え、商品aについて商標「ABC」を使用する場合には、X社の登録商標である旨を明記することとした。
- ウ X社は、指定商品aについての登録商標「ABC」は無効とされると考え、商標「ABC」の使用を中止し、新たな商標を使用することにした。

問14

甲は、新しいレタスの品種Aの開発に成功し、品種Aについて品種登録を受けた。甲が品種Aのレタスの生産販売を始めるために市場を調査したところ、乙が品種Aの育成方法について特許権を取得し、特許された育成方法で育成した品種Aのレタスの生産販売をしていることが判明した。ア～ウを比較して、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 乙の品種Aの生産販売が、甲の品種登録出願の日から遡って1年以内であれば、甲は乙に対して、登録品種Aについての育成者権に基づく権利を行使することができる。
- イ 甲は乙に対して、甲の登録品種Aについての育成者権に基づいて、品種Aの生産販売の差止めを請求することができない。
- ウ 特許権と育成者権について調整規定は設けられていないので、甲、乙いずれも品種Aの販売をすることができない。

第34回知的財産管理技能検定
【3級（管理業務）実技試験】

問15

傘メーカーのX社は、傘A、傘B、傘Cを企画し、製造した。X社の社員甲はこれらの傘について意匠登録による保護ができないかどうか検討している。ア～ウを比較して、甲の発言として、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 「傘Aは、昭和の有名な映画で著名な俳優が使用していた傘を忠実に再現したものだから、意匠登録されることはありません。」
- イ 「傘Bは、新たに開発した素材を用いたデザインであり、壊れにくく持ち運びしやすくするという技術的な特徴を有するものだから、特許で保護すべきであり、意匠登録されることはありません。」
- ウ 「傘Cは、来シーズンのトレンドを意識したファッション性の高い傘であり、このような傘を1社が独占すると市場が混乱するから、意匠登録されることはありません。」

問16

食品メーカーX社は、商品に関して商標登録出願をすべきか否かを検討している。ア～ウを比較して、X社の考えとして、最も不適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 商標を使用した商品の広告に起用する独自のキャラクターのマスコット人形について、商標登録出願をすべきであると考えた。
- イ 商品のパッケージについて、ユニークなデザインの包装紙を使用しているため、商標登録出願をすべきであると考えた。
- ウ サボテンの形が特徴的な立体的形状の飲料容器について、商標登録を受けることはできないと考えた。

問17

X社の知的財産部の部員は、特許協力条約（PCT）に基づく国際出願をすることを検討している。ア～ウを比較して、部員の発言として、最も不適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 「国際出願した後、所定の期間内に指定国毎に国内移行手続を行うために、国際事務局に対して移行手続の請求を行う必要はありません。」
- イ 「国際出願した後、原則として優先日から18カ月経過後に国際公開が行われますが、国際公開の時期を早めることもできます。」
- ウ 「国際出願した後、所定の期間内に国際調査機関に対して国際調査を行うことを請求する必要があります。」

第34回知的財産管理技能検定
【3級（管理業務）実技試験】

問18

甲と乙とは、共同で創作した絵画を2002年5月1日に完成させ、2002年7月1日に実名で公表した。その後、甲は2011年12月31日に死亡し、乙は2017年1月1日に死亡した。ア～ウを比較して、この絵画の著作権の存続期間が満了する時期として、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 2071年12月31日
- イ 2077年12月31日
- ウ 2087年12月31日

問19

X社は、フランスにした特許出願Aに基づいてパリ条約上の優先権の主張をして、わが国に特許出願Bをした。ところが、特許出願Bについて出願審査請求をする前に、特許出願Aが拒絶された。ア～ウを比較して、X社の知的財産部の部員の考えとして、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア パリ条約における優先権制度の趣旨から、特許出願Aが拒絶されると、優先権の主張は無効となり、特許出願Bのわが国における出願日を基準として審査が行われます。従って、新たな先行技術がないかどうかを含めてよく検討した上で出願審査請求の要否を決めます。
- イ パリ条約における特許独立の原則から、特許出願Aが拒絶されても、特許出願Bが当然に拒絶されるとは考えられません。従って、特許出願Aが拒絶された理由を十分に検討した上で出願審査請求の要否を決めます。
- ウ パリ条約における優先権制度の趣旨から、特許出願Aが拒絶された以上、そのことを理由として特許出願Bも当然に拒絶され、出願審査請求をすることはできません。

問20

菓子メーカーであるX社の知的財産部の部員甲が新商品に使用する商品名Aについて、先行商標調査をした。調査の結果、Y社が、新商品と同種類の商品について、商品名Aと同一の商標に係る商標権Bと、商品名Aと類似する商標に係る商標権Cとを所有していることが判明した。ア～ウを比較して、甲の考えとして、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 商標権Cは存続期間満了により消滅していることが確認できたが、商標権Cに係る商標は公知となっていることを理由に、商標権Cに係る商標と同一の商標については、商標登録を受けることはできないと考えた。
- イ 商品名Aについて商標登録を受けることは困難と判断し、商品名として、商品名Aに類似する商品名を採択することにした。
- ウ 商標権BについてY社から専用使用権の設定を受けるためには、登録が必要であると考えた。

第34回知的財産管理技能検定
【3級（管理業務）実技試験】

問21

アパレルメーカーX社では、自社のウェブサイト、自社で作成するか又はウェブサイト制作会社のY社に作成を依頼するかについて検討している。ア～ウを比較して、X社の従業員の発言として、最も不適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 「Y社に著作権人格権と著作権の譲渡を約束させた上で、ウェブサイトの作成の業務を委託すれば、わが社の従業員はウェブサイトを自由に更新することができます。」
- イ 「ウェブサイトの作成が得意なわが社の従業員が職務としてウェブサイトを作成すれば、そのウェブサイトの著作権はわが社になるから、わが社の従業員はウェブサイトを自由に更新することができます。」
- ウ 「Y社と著作権の取扱いについて契約せずにウェブサイトの作成を依頼すると、ウェブサイトの著作権はY社になるから、わが社の従業員はウェブサイトを自由に更新することができません。」

問22

文房具メーカーX社は、斬新な模様Aを有する鉛筆の意匠Bについて意匠権を有している。X社の営業部の部員甲は、Y社が、X社の許可なく模様Aを利用していることを知った。ア～ウを比較して、X社がY社に対して、意匠Bに係る意匠権の行使ができる可能性が高い場合として、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。なお、鉛筆と消しゴムは非類似の物品とする。

- ア Y社が、模様Aを有する鉛筆を漫画に登場させている場合
- イ Y社が、模様Aを有する消しゴムを販売している場合
- ウ Y社が、模様Aを有する鉛筆とボールペンを組み合わせて販売している場合

問23

ア～ウを比較して、特許を受けることができる発明として、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア デジタルカメラのデータの記録方法
- イ サッカーのフリーキックを蹴る方法
- ウ ボードゲームの遊戯方法

第34回知的財産管理技能検定
【3級（管理業務）実技試験】

問24

文房具メーカーであるX社は、Y社の特許権に係るボールペンと同一のボールペンAを製造販売することを計画している。ア～ウを比較して、X社が、Y社に無断で行った場合でも、Y社の特許権を侵害しない行為として、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 市場動向を調査するために自ら製造したボールペンAを、文房具店で販売のために展示する行為
- イ ボールペンの研究のために、ボールペンAを製造する行為
- ウ サンプルとして無償配布するために、ボールペンAを製造する行為

問25

ア～ウを比較して、著作権者の許諾を得るべき行為として、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 自分で使用するため、著作権法の条文を、そのまま丸ごとコピーする行為
- イ 1990年代にヒットした他人のバンドの曲を、観客から入場料を徴収してライブで演奏する行為
- ウ 友人甲がスマートフォンで撮影した画像を、友人乙へのメールに添付して送信する行為

問26

オートバイメーカーX社は、開発中の新しいオートバイに関し、当初は意匠登録出願の直後に製品発表をする予定であったが、意匠登録出願はしたものの、製品発表時期を大幅に延期することとなった。意匠登録出願時に秘密意匠の請求をしていなかったことから、対応を検討している。ア～ウを比較して、X社の知的財産部の部員の発言として、最も適切と考えられるものはどれか。対応する記号を解答用紙に記入しなさい。

- ア 「秘密意匠の請求は意匠登録査定後であってもできますが、第1年分の登録料の納付と同時に行う必要があります。」
- イ 「既に意匠登録出願をしてしまったため、秘密意匠にするためには、一度意匠登録出願を取り下げて、秘密意匠の請求とともに意匠登録出願をし直す必要があります。」
- ウ 「意匠登録出願後であっても秘密意匠の請求はできますが、最初の拒絶理由通知が来る前までに手続する必要があります。」

第34回知的財産管理技能検定
【3級（管理業務）実技試験】

4 問27に答えなさい。

問27

日本を代表する大手自動車メーカーX社は、2019年7月に出願した特許出願について、請求項の数を6とする特許出願をすることとし、特許出願時に併せて出願審査請求をすることとした。この場合、出願時に支払うべき費用は、何円になるか求めて、算用数字で解答用紙に記入しなさい。

| | |
|------------------------------|--------------------------------|
| 特許法第195条関係別表及び特許法等関係手数料令より抜粋 | |
| (左：納付しなければならない者，右：金額) | |
| 特許出願をする者 | 1件につき14000円 |
| 出願審査の請求をする者 | 1件につき138000円に1請求項につき4000円を加えた額 |

5 次の会話は、化粧品メーカーX社の製品開発担当者甲と知的財産部の部員乙のものである。
問28～問30に答えなさい。

甲 「わが社の口紅に使用している商標Aが、指定商品が口紅であるY社の登録商標Bに類似していることがわかりましたが、どうしたらよいでしょうか。」

乙 「わが社の商標Aは登録商標Bの出願前から周知ですので、登録異議申立てをすることができますが、既に商標掲載公報の発行日から 1 経過している場合には申立てをすることができません。」

甲 「その場合はどうしたらよいですか。」

乙 「その場合には、商標登録無効審判を請求することができます。商標登録無効審判は、 2 請求することができます。継続して3年以上、Y社の登録商標Bが、口紅に使用されていない場合には、 3 を請求することができます。」

問28

空欄 1 に入る最も適切な語句を【語群V】の中から選び、解答用紙に記入しなさい。

問29

空欄 2 に入る最も適切な語句を【語群V】の中から選び、解答用紙に記入しなさい。

問30

空欄 3 に入る最も適切な語句を【語群V】の中から選び、解答用紙に記入しなさい。

| | | | |
|---------|----------|----------|-----|
| 【語群V】 | | | |
| 1カ月 | 利害関係人に限り | 2カ月 | 何人も |
| 不使用取消審判 | 不正使用取消審判 | 拒絶査定不服審判 | |

【第34回知的財産管理技能検定】

【3級 実技】

番号 正解

問1 ×

問2 ア

問3 ×

問4 イ

問5 ×

問6 ウ

問7 ○

問8 エ

問9 ×

問10 ア

問11 ○

問12 イ

問13 イ

問14 イ

問15 ア

問16 ウ

問17 ウ

問18 ウ

問19 イ

問20 ウ

問21 ア

問22 ウ

問23 ア

問24 イ

問25 イ

問26 ア

問27 176000(円)

問28 2カ月

問29 利害関係人に限り

問30 不使用取消審判